

「野口神社」(五社宮)



前号に続き、旧西国街道周辺を紹介します。
今回は東加古川のドンキホーテの北に位置する野口神社(五社神社)。有名な神社なので、近隣の方はよくご存知と思いますが…。

主神は日吉大神ひえのおおがみで、比叡山延暦寺の守護神日吉大社ひよし(ひえ)(猿が神の使い)から大山咋命おおやまくい(日吉大神)の分霊を迎え、のち品陀別命ほんだわけ(八幡大神)・須佐之男命すさのお(八坂大神)・速玉男命はやたまのお(熊野大神)・天伊佐々比古命あめのいささひこ(日岡大神)の四柱の神を合祀したとされています。

神社の西にある、延暦寺の末寺「教信寺」(第36号参照)とは深いつながりがあります。

この地には、仏教伝来の流れの中で、古くから寺院が建てられ、奈良時代に寺院(通称「野口廃寺」)が建立されました。

江戸前期に社殿・鳥居が建てられ、西国街道沿いの「五社大明神」、「五社山神宮寺(山王五社宮)」として栄え、伊能忠敬や儒者頼山陽らいざんようも訪れたそうです。

明治時代に政府が法令で神と仏を厳しく区別した結果、神社内の神宮寺は撤去され、社名も「五社宮」から「野口神社」と改称されました。

現在の本殿は、平成8年に改修されたものです。

初詣、秋祭り(お神輿巡行)七五三等定番の年中行事の場でもありますが、7月下旬には、古式ゆかしい「湯立て」(釜の煮立った湯を御幣で人々に振りまき厄災を祓う)と夏越の大祓の神事があります。興味のある人は見学してみましょ。

